

# 高島エリアの公共施設の将来のあり方を考える市民対話《かわら版》

## 🍅 第4回 開催報告 🍅



ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。



**日時** 平成30年8月26日(日) 15:30~17:30

**場所** 高島ふれあいセンター 多目的ホール

**参加者** 地域の皆さん 25人

### 1 全4回の流れ

#### 第1回

(5/20)

- 長崎市の**公共施設の現状**や**見直しの必要性**について
- 高島の将来を**安心して暮らしていけるまち**にしていくために、**どんな施設を見直すべきか**

#### 第2回

(6/24)

- 市全体の公共施設の配置の考え方**と、市で検討した**高島の公共施設の見直し案**の説明
- 見直し案へのご意見・ご提案**

#### 第4回

(8/26)

- 第3回でいただいたご意見等を踏まえて、**市で検討した結果**を説明
- 意見交換**
- 対話のまとめ**

#### 第3回

(7/22)

- 第2回でいただいたご意見等に対し**市で検討した結果**を説明
- 市から提示した「**話し合っていたきたいこと**」について**意見交換**

### 2 第3回でいただいたご意見等に対する市の回答

#### 幼稚園



高島幼稚園

#### 市の配置の考え方

安心して子育てをするために、子どもの保育・幼児教育サービスはこれからも必要です。

将来的に、保育と幼児教育の機能を併せ持つ認定こども園を、島内に1か所配置します。時期や配置場所については、島内の需要を見ながら、現在の施設又は島内の他の公共施設の活用も含めて検討します。

#### 前回の主なご意見

- 幼稚園は、現在の場所では不審者の心配があるので、地域センターに移転してはどうか。
- 空いた幼稚園の建物を改修して、合宿施設にできないか。

#### 市の回答

- 現在サービスを提供している施設については、本来のサービスがきちんと提供されることを優先して施設のあり方を考えます。
- 幼稚園の不審者対策については、重要だと考えています。園児の安全のため、出入り口の施錠・監視や、緊急時の対応マニュアルの整備等を実施しています。

## 市営宿泊施設



しまの宿五平太

市の  
配置の  
考え方

宿泊施設の運営は、本来民間事業者任せの分野であり、原則として既設の市営宿泊施設は将来的に廃止、もしくは民間移譲することとしています。

しまの宿五平太は、施設の老朽化が進んでおり、耐震性もないことから、このまま継続していくことは困難な状況です。今後は、民間も含めた他の施設により機能の代替を図ることができないか、住民のみなさんとも話し合いをしながら検討していきたいと考えています。

前回の  
主な  
ご意見

- 避難所機能や、飲食を伴う会合ができる場所をどのように維持するのか。
- 五平太を改修して民間移譲を検討する。
- 市の既存施設を活用して、宿泊施設として利用してはどうか。

市の  
回答

- 避難所については、島内の他の公共施設への指定替えを検討していきます。飲食を伴う会合場所については、節度ある内容であれば、ふれあいセンターなどが利用できるように調整していきます。
- 民間譲渡を前提とした改修予算を確保することは難しいと考えます。
- 現在サービスを提供している施設については、本来のサービスがきちんと提供されることを優先して施設のあり方を考えます。

## 入浴施設



いやしの湯

市の  
配置の  
考え方

風呂がない住宅が多く、民間参入が見込めない高島地区については、今後も入浴サービスが必要と考えます。

いやしの湯は、将来の人口・世帯数や市営住宅の風呂の整備の状況により、公衆浴場のバリアフリー化など、将来の利用方法や施設の見直しを検討しながら、適正に管理していきます。

前回の  
主な  
ご意見

- いやしの湯の屋上に太陽光発電設備を設置したら、2、3年の電気代で元はとれるのではないかと。

市の  
回答

- いやしの湯の屋上にはすでに太陽熱温水器が設置されているほか、傾斜屋根の部分は北向きで、強度についても課題があり、設置は困難であると考えます。

## 市営住宅



高島光町住宅 等

市の  
配置の  
考え方

人口減少社会を迎え、将来的な住宅需要の減少が予測されますので、市全体で総戸数を縮小していく方針です。また、入居者の点在を解消し、効率的な維持管理が出来るようにしていきます。

高島地区の市営住宅は、耐震性が確保されている、比較的状态の良い建物を、高齢化に対応した改修も行いながら適切に維持管理し、併せて集約化を図っていくこととしています。

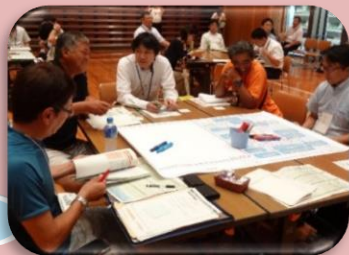
前回の  
主な  
ご意見

- 百万住宅の廃止後、耐震性を確保して、民間に貸出・譲渡できないか。1,2階を宿泊施設にして、3階は住宅か、石炭資料館等を入れてはどうか。

市の  
回答

- 百万住宅は、耐震性が低く老朽化も著しいため、集約が完了した後、速やかな解体を検討しています。
- 解体したあとの土地については、有効な活用策を検討していきます。

## 対話のようす



## 小売市場



市設高島市場

### 市の 配置の 考え方

長崎市が設置している小売市場については、民間の流通機能が発達したことから必要性は低くなっており、将来的には廃止していく方針です。

ただし、民間の店舗が少ない離島地区については、食料品等の生活必需品の安定的な供給機能の確保を行う必要があります。

高島市場は、食料品や日用品などを販売する場合に、利用の許可を行っています。しかし、年々店舗数が減少し、島内での食料品や日用品等を安定的に供給する役割を担うことが難しくなっていくことが見込まれます。

今後の島内での買い物環境を維持していくために、現在のあり方を見直す時期に来ております。

### 前回の 主な ご意見

- 規制を緩和して、いろいろな活用ができるようにしてほしい。
- 活用したいという人に、安い家賃で貸して、今まで以上の家賃収入を得られるようにしてはどうか。
- 「公設」の枠組みをはずせばうまくいくのではないか。

### 市の 回答

- 民間での活用を促進できるように、公設市場の位置付けを見直す方向で、今後調整を図っていきます。

## その他

### ○施設の維持管理について

### 前回の 主な ご意見

- 施設のメンテナンスについては、予算を積み立てによって用意し、計画的にしてほしい。また、施設を造る段階で、メンテナンスしやすいようにするべきではないか。

### 市の 回答

- 壊れてから直すという「事後保全」ではなく、劣化を事前に把握して故障や事故を防ぐ「予防保全」の考え方に立って、計画的な維持管理に取り組んでいきます。
- 改修・維持管理のしやすさや、将来の用途変更を考慮した設計など、施設の長寿命化に取り組んでいきます。

### ○遊休資産の有効活用について

### 前回の 主な ご意見

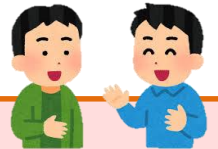
- 地域のみんながひとつになってアイデアを出しあって、地域の活性化のためにみんなで協力することが必要だ。
- 市が所有している高島の資産について、どのように活用していくのか。

### 市の 回答

- 地域のみんさんが高島の振興やまちの活力を高める活動をお考えのとき、市の遊休資産の活用について、具体的なアイデア等のご相談があれば、みなさんと一緒に考えながら、地域の振興につなげていきたいと考えています。

## 3 意見交換

第1回から第4回までの市からの説明に対して、ご意見やご質問をいただき、意見交換を行いました。



- 高島光町住宅にエレベーターは設置されるのか。

### 市の 回答

設置する方向で検討しています。ボーリング調査が完了し、現在はエレベーターの設計を行っていますので、それを踏まえて、今後みなさんにお知らせする機会を持ちたいと考えています。

- 海水浴場は賑わっているのですが、備品を取り替える等の費用に充てるために入場料をとったらいいのではないか。

### 市の 回答

海水浴場は、海岸にあって基本的に自由に入出りできる場所のため、入場料をとることは難しいと考えますが、他の海水浴場の事例なども参考に、今後検討させていただきたいと思っております。

● しまの宿五平太は、民間移譲ができない場合、そのまま廃止するのか。

**市の回答** 五平太は施設の老朽化等もあって、このまま継続していくことは難しいと考えていますが、すぐに廃止というのではなく、今後、高島全体でどのように宿泊の受け入れ体制を整えるのかを見極めながら、あり方を検討していきたいと考えています。

● 高島にある施設を利用したことがあれば、改善すべき点等もわかるはず。市は、いったいどれだけ高島のことを自分のこととして感じているのか。

**市の回答** 現地で施設を見て、地域のみなさんのお話も聞きながら、地域に寄り添うようなかたちで考えていきたいと思っています。その一方で、今ある建物の全てを、建て替えたり改修することもできないので、今後も地域のご意見も聞きながら、施設のあり方を考えてまいります。

● 10年、20年後の高島のビジョンをどのように考えているのか。

**市の回答** 高島に住み続けたい人が、これからも安心して暮らし続けていけるような環境を整えなければならぬと考えています。併せて、島の活性化についても取り組んでいくことが大切と考えています。

● 高島の振興についてはどこに相談したらいいのか。

**市の回答** まちづくりについては、南総合事務所が担当しますが、高島地域センターと一緒に高島の振興を考えていきますので、まずは、今まで通り、地域センターにご相談ください。

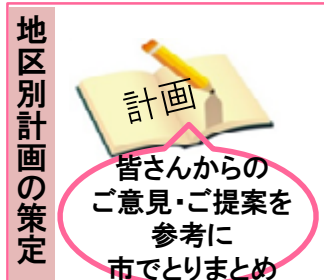


**【総評】アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讃岐 亮 先生**

- 公共施設のあり方を考えるときに、地域の振興と連携して考えることは大切です。
- この4回の対話を通して、高島のみなさんが経営者の目線を持って地域のことを考えているのだということを感じました。
- 今回の対話をきっかけにして、今後も施設のあり方を考え、アイデアを実現・実践していくための話し合いの場が持たれることと思います。そのときは経営者の目線を思い出して、市のみなさん、市民のみなさんとお互いに議論していったほしいと思います。

## 4 今後の流れ

※この対話で出たご意見などを参考に、施設の整備計画は最終的に市で決定していきます。



公共施設の地区別計画を策定しましたら、高島の皆さんへ改めてお知らせいたします。たくさんのご意見・ご提案をありがとうございました。